

市営墓園・墓地、納骨堂に係る調査結果について

1. 調査について

- ・業務委託名：令和4年度浜松市営墓園・墓地、納骨堂整備方針検討業務委託  
(期間：2022年4月20日～2023年2月28日)
- ・調査目的：市営墓所及び納骨堂の適正な運営のため、墓地需要推計を行い、整備方針の検討を実施。

2. 結果について

① 浜松市内の民間墓所の動向

- ・近年、民間の新たな墓所開設により、墓地の区画数は増加。
- ・開設された民間墓所では、従来型のほかに樹木葬型、合葬型等が提供されている。

② 市営の納骨施設の動向と課題

- ・市の人口減少の中、死亡者数への影響が大きい老年人口は2040年まで増加すると予測。
- ・市営の納骨施設は7か所(中沢、三方原、舞阪吹上、雄踏、細江高台、船明、納骨堂)。
- ・市営施設では、船明墓地(普通墓所、芝生墓所)および納骨堂のみ新規貸付けがある。

《納骨堂》

- ・墓地を持たない方や「墓じまい」等の改葬先として、納骨堂は需要が増加している。
- ・納骨堂(永年納骨)は、生前登録数を含め2029年頃に収蔵上限9,000体に達する見込み。

《船明墓地》

- ・全体の整備計画の内、第1～3期まで整備済み、第4、5期は未着手。
- ・現状、貸付数が減少していることから、新規貸付完了年度は今後20年以上になる見込み。

《その他市営墓地》

- ・主に中沢墓園や三方原墓園で老朽化(トイレ、外灯等)が進んでいる。
- ・墓参道の一部に砂利や段差などに対するバリアフリー化、及び墓園内樹木の適正管理が必要。

3. 今後の方向性及び検討について

《納骨堂》

- ・納骨堂の増設などを検討。(2025年度末までに方針を決定していく。)

《船明墓地》

- ・未整備地区(第4、5期区画)の墓地の整備計画について、墓園以外の利活用も含め検討。
- ・検討に際しては、区画整理事業区域であること、都市計画法上の用途地域や地区計画への影響、地域住民や墓地利用者の理解などの考慮が必要。

《その他市営墓地》

- ・三方原墓園、中沢墓園の施設老朽化対策に優先度を付け順次実施。
- ・今年度、三方原墓園墓参道について、バリアフリー化対策の測量設計を実施。次年度以降で工事予定。
- ・計画的な樹木管理の検討。

## 1. 納骨堂（永年）利用状況及び推移予測

年度	～2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
永年納骨数(体)	1,627	1,896	2,225	2,541	2,900	3,254	3,642
生前登録数(体)	1,030	1,095	1,180	1,286	1,333	1,373	1,534
計(体)	2,657	2,991	3,405	3,827	4,233	4,627	5,176
年度	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029
永年納骨数(体)	4,052	4,484	4,938	5,413	5,909	6,428	6,968
生前登録数(体)	1,626	1,719	1,811	1,903	1,995	2,087	2,179
計(体)	5,678	6,203	6,749	7,316	7,904	8,517	<u>9,147</u>

※1 収蔵上限数 9,000 体、2022 年度以降は予測値

## 2. 船明墓地貸付状況

種類 (整備済数)	～2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	計	残
普通 2㎡ (1,287 区画)	482	55	72	40	42	47	32	770	517
普通 3㎡ (735 区画)	606	24	17	7	13	5	4	676	59
芝生 (606 区画)	265	60	55	48	52	35	25	540	66
計(区画)	1,353	139	144	95	107	87	61	1,986	642

## 3. 参考図：船明墓地未整備区

